デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HDC-331	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　- 様	
※販売店	住所 店名	〒　- TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車輌、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
   （ヘ）本書のご提示がない場合。
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には別紙のご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後3年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

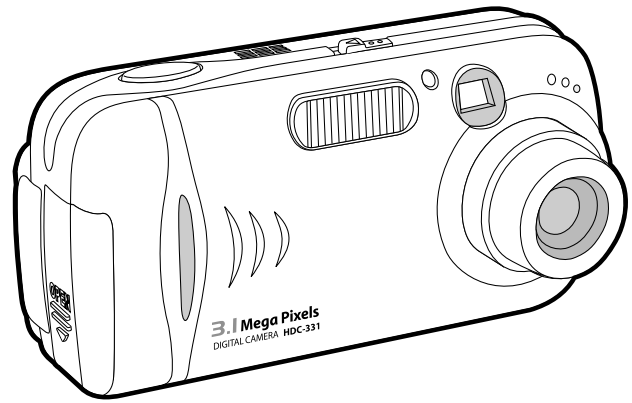
取扱説明書　　日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ

HDC-331形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-331」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P93

i.mega

目次

はじめに 3

■ 安全上のご注意 3
■ あらかじめご承知頂きたいこと 6
■ 使用上のご注意 7
■ 商品概要 9
■ 同梱品 10
■ 各部の名称 10
■ 液晶モニターの表示 14

基本操作編 18

準備する 19
■ 電池を入れる 19
■ 電源のオン／オフ 21
■ 日付／時刻を合わせる 22
■ SDメモリーカードを使う場合 23
■ 初期設定に戻す 25
静止画／動画を撮る 27
■ 静止画を撮る 27
■ ズームを使う 32
■ ストロボを使う 34
■ 近距離撮影をする（マクロ撮影） 36
■ 動画を撮る 37
静止画／動画を見る 39
○ ズーム再生をする場合は 39
○ インデックス再生をする場合は 40
○ 動画を再生する場合は 40
画像を消去する 41
テレビを使って再生／撮影する 43

応用操作編 46

準備について 47
■ 表示言語を設定する 47
■ 日付の表示形式を設定する 48
■ サウンドのオン／オフを設定する 49
■ オートパワーオフの時間を設定する 50
■ 液晶モニターの明るさを設定する 51
■ ACアダプター（別売）を使う 52
撮影（静止画／動画）について 53
■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する 53
■ ホワイトバランスを設定する 55
■ 露出（明るさ）を設定する 56
■ シャープネスを設定する 57
■ プレビューのオン／オフを設定する 58
■ セルフタイマーで撮る 59
再生（静止画／動画）について 60
■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする 60
■ スライドショー再生をする 62
■ 画像プロテクトを設定する 63
消去について 64
■ フォーマットする 64

パソコン接続編 66

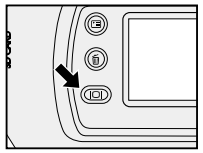
画像ファイルをパソコンにコピーするまでの流れ 67
①パソコンの動作環境を確認する 68
②HDC-331 Driverをパソコンにインストールする 69
（Windows98/98SEをお使いの場合）
③USBケーブルでパソコンと接続する 71
④画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続） 73
⑤カメラを取り外すときは 75
HDC-331 Driverをアンインストール（削除）する 76

付録 78

■ 故障とお考えになる前に 79
■ 仕様 87
■ サービス／ご相談窓口 92
■ クイックスタートガイド「とにかく使ってみる」 93

液晶モニターの表示切替について

／ ／ ／ の各モード時に を押すと、液晶モニターの表示方法を切替えることができます。



オート撮影モード／ マニュアル撮影モード時

通常表示 → 簡易表示 → 表示オフ

動画撮影モード時

通常表示 → 簡易表示

再生モード時

通常表示 → 画像情報表示 → SDカードコピー P60

画像情報表示：
SIZE……(画像サイズ)
ISO……(撮像感度)
EXP. TIME……(シャッタースピード)
F. NUMBER…(F値)

カードにコピーします
はい　いいえ

動画像の場合は、画像情報は表示されません。

基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する ——— 19
- ■ 電池を入れる ——— 19
- ■ 電源のオン／オフ ——— 21
- ■ 日付／時刻を合わせる ——— 22
- ■ SDメモリーカードを使う場合 ——— 23
- ■ 初期設定に戻す ——— 25

静止画／動画を撮る ——— 27
- ■ 静止画を撮る ——— 27
- ■ ズームを使う ——— 32
- ■ ストロボを使う ——— 34
- ■ 近距離撮影をする(マクロ撮影) ——— 36
- ■ 動画を撮る ——— 37

静止画／動画を見る ——— 39
- ○ズーム再生をする場合は
- ○インデックス再生をする場合は
- ○動画を再生する場合は

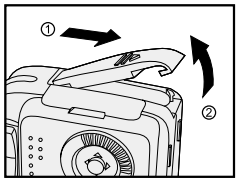
画像を消去する ——— 41

テレビを使って再生／撮影する ——— 43

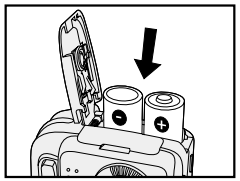
準備する

■ 電池を入れる

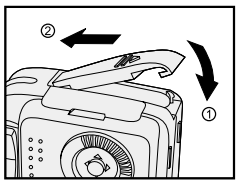
● 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。



● ＋と－のしるしにあわせて電池を入れます。



● 電池カバーを閉じます。



- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単3形アルカリ乾電池以外に、単3形ニッケル水素電池を使用できます。
（日立マクセル(株) HR-3SB推奨）

- 単3形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。

電池寿命の目安 （液晶モニターオン、内蔵メモリ使用時）

電池種類	連続撮影時	循環撮影時		再生時間
		ストロボ発光	ストロボ無し	
単3形アルカリ乾電池LR6	約270枚	約115枚	約160枚	約140分

- 表の数値は、標準環境において、2048×1536／ノーマルモードで、以下の条件で撮影した場合、約3秒1コマを連続で再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
  ［連続撮影］ストロボ無しでの撮影を連続で行った場合
  ［循環撮影］被写体確認5秒→撮影→再生5秒を繰り返し行った場合
  ※両条件ともにメモリ残量がなくなった時点で全ての画像を消去。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長時間ご使用にならない場合は、電池をはずして保管することをおすすめします。

電池残量の表示

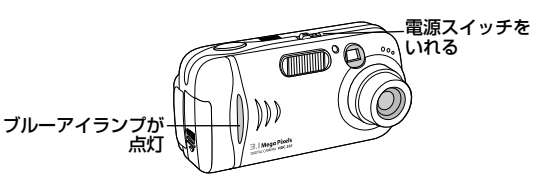
電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
（このとき、ストロボは使用できません。また、**フォーマットする** P64 ときなど、正常に動作しない場合がありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）
電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

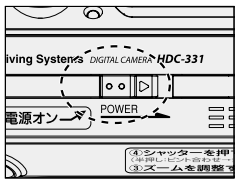
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

■ 電源のオン／オフ

● 電源スイッチを矢印の方向へゆっくりとスライドさせて、電源をオンにします。

ブルーアイランプの点灯と「ピッ」という音で電源がオンになったことをおしらせします。





● 電源スイッチを矢印の方向へゆっくりとスライドさせて、電源をオフにします。

「ピッ」という音がなって電源がオフになります。

電源スイッチのスライド動作が早すぎると、電源がオン／オフしないときがあります。その場合はゆっくりと操作をやり直してください。

オートパワーオフ機能

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は1分間 P50）と、節電のために自動的に電源がオフになります。
再び使用するときは電源スイッチを操作して電源をオンにしてください。

- ACアダプター（別売）を使用しているときの初期設定は5分間です。
- パソコンとUSB接続しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合など**内部時計がリセットされた場合には、モードダイヤルの位置に関わらず、日付／時刻を設定する画面が電源オン時に表示されます。**その場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

● 「年」「月」「日」「時」「分」の順にコントロールパネルを使って合わせます。

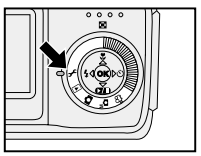
【▲】【▼】：＋－　【◀】【▶】：数値の決定と項目の移動

● 「分」まで合わせたら **OK** を押します。

日付／時刻が設定されます。

1度設定した日付／時刻を合わせ直す場合は

● モードダイヤルを 🔧 にします。



● [セットアップ1/2] メニューから【◀】【▶】で、[セットアップ2/2] メニューを選び、【▲】【▼】で [日付／時刻設定] を選び、【▶】を押します。

● 上記の手順と同様の操作で日付／時刻を合わせます。

- 日付の表示形式は変更できます。詳しくは**日付の表示形式を設定する** P48 をご覧ください。
- 電源交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約10分間バックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付／時刻の設定がクリアされる場合があります。
- 設定された日付／時刻は、電源をオフにした後や**初期設定に戻す** P25 操作を行っても保持されます。

■ SDメモリーカードを使う場合

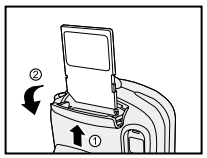
SDメモリーカードについて P8

本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます
（32/64/128/256/512MB対応）。
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます（内蔵16MBフラッシュメモリ搭載）。
また**内蔵メモリ内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P60 こともできます。

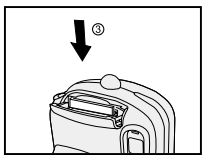
- **撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間／データサイズ** P88 **をご覧ください。**
- **以降、この取扱説明書ではSDメモリーカードのことをメモリーカードと表記します。**

- **メモリーカードを使用するとメモリーカードが優先され、内蔵メモリに記録したり、内蔵メモリ内の画像を再生したりすることはできません。**
- **メモリーカードの交換は電源をオフにして行ってください。**

● SDメモリーカードカバーを矢印の方向にスライドさせて開きます（①→②）。



● SDメモリーカードを挿入します③。
メモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

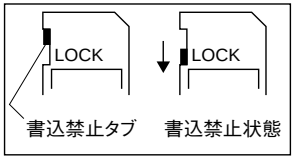


● SDメモリーカードカバーを閉じます。

メモリーカードを取り出すには

SDメモリーカードカバーを開き、メモリーカードを1回押して取り出してください。

メモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について



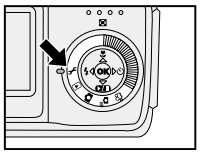
メモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「SDカードロック！」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

- **他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。フォーマットする** P64
- **メモリーカードを使用する場合は、メモリーカードの取扱説明書をあわせてお読みください。**

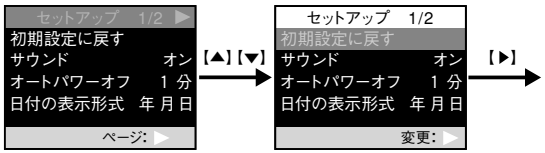
■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしたあとに、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

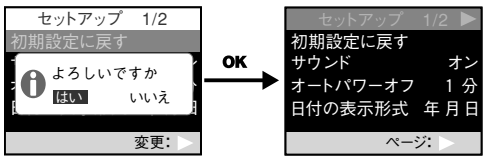
● モードダイヤルを にします。



● [セットアップ1/2] メニューから【▲】【▼】で、[初期設定に戻す] を選び、【▶】を押します。



● 【◀】【▶】で [はい] ／ [いいえ] を選び、**OK** を押します。



各項目の初期設定

設定項目	初期設定
画像サイズ	3M (2048×1536)
画質	★★ (ノーマル)
プレビュー	オン
液晶明るさ	0
サウンド	オン
デジタルズーム	オン
オートパワーオフ	1分間
露出補正	AUTO

設定項目	初期設定
ホワイトバランス	AUTO (オート)
シャープネス	ノーマル
スライドショー	3秒 (間隔)
ビデオモード	NTSC
表示言語	日本語
ストロボモード	(発光禁止モード)
マクロモード	オフ
セルフタイマー	オフ

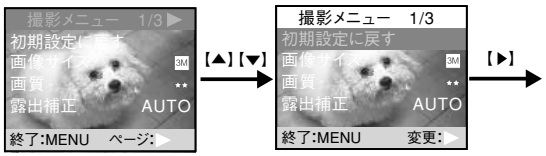
上記以外の項目は初期設定に戻す操作を行っても設定内容が優先され初期設定には戻りません。

らくらく初期設定

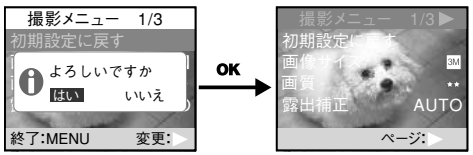
モードダイヤルを にしなくても、 ／ の各モードから、以下の操作で簡単に初期設定に戻すことができます。

● モードダイヤルが ／ の状態で、 を押します。
[撮影メニュー] が表示されます。

● [撮影メニュー] から【▲】【▼】で、[初期設定に戻す] を選び、【▶】を押します。



● 【◀】【▶】で [はい] ／ [いいえ] を選び、**OK** を押します。
[撮影メニュー] に戻ります。



● を押すと、[撮影メニュー] を終了します。

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

静止画撮影モードには、 オート撮影モードと M マニュアル撮影モードがあります。各々のモードでは、設定可能な項目が異なります。

オート撮影モードとM マニュアル撮影モードでの設定可能な項目を参考にしてください。

オート撮影モード：露出・ホワイトバランス等の設定をカメラにまかせて撮影するモードです。

M マニュアル撮影モード：露出やホワイトバランス、シャープネスを設定して撮影するモードです。

オート撮影モードとM マニュアル撮影モードでの設定可能な項目

項目	オート撮影モード	マニュアル撮影モード
初期設定に戻す	○	○
画像サイズ	○	○
画質	○	○
露出補正	—	○
ホワイトバランス	—	○
デジタルズーム	○	○
プレビュー	○	○
液晶明るさ	○	○
シャープネス	—	○

また、撮影方法には、液晶モニターを見ながら撮る方法とをファインダーを見ながら撮る方法があります。

電池残量が少ない場合や、通常のフイルムカメラ感覚で撮影したい場合は、ファインダーを見ながらの撮影をおすすめします。**液晶モニターとファインダーを使い分ける**を参考に目的に応じた撮影方法でご使用ください。

液晶モニターとファインダーを使い分ける

	液晶モニターを見ながら撮る	ファインダーを見ながら撮る（液晶モニターオフ）
こんな場合に	・実際に撮影される範囲を確認しながら撮影したい場合 ・花や人物のアップの撮影など、マクロモードで撮影する場合	・電池残量が少ない場合 ・通常のフイルムカメラ感覚で撮影したい場合
長所	・撮影する範囲を正しく確認できる。	・カメラがブレにくい。 ・周囲が明るくても被写体がよく見える。 ・電池消耗が少ない。
短所	・手ブレが起こりやすい。 ・周囲が明るいときや暗いときに見にくい場合がある。 ・電池消耗がファインダーと比べて早い。	・近くのものを撮影する場合に、ファインダー内の画像と実際に撮影される画像にズレが生じる。 ・デジタルズームが使用できない。

シャッターボタンの押し方

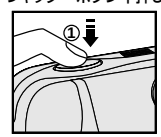
シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

半押しと全押しの操作(感覚)については、実際に撮影される前に必ずお試しください。

① 半押し（浅く押したとき）→ピントなどを自動設定します。

M マニュアル撮影モードで、露出・ホワイトバランスを設定している場合は、設定している内容が優先されます。

シャッターボタン半押し



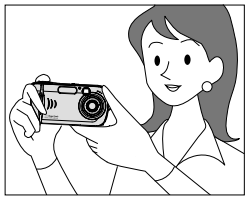
② 全押し（深く押したとき）→シャッターが切れます。

- **半押しで構図を確かめ、全押し時は指の腹でやさしく押してください。全押し時に力が入ると、カメラが下がり、画像がブレる原因になります。**
- **シャッターボタンを全押しし、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因になります。 (画像記録中)アイコンが表示されるまでカメラを固定してください。**

シャッターボタン全押し

液晶モニターを見ながら撮る場合 静止画撮影の流れ P31

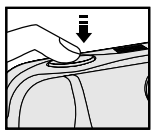
● 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。
● モードダイヤルを 📷 / M📷 にします。
● 脇を締めて両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。



両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

● シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。
- ⊞（AFターゲットマーク）が点滅し、“ピピッ”という音と⊞（AFターゲットマーク）の固定、●（フォーカスロックマーク）の表示で、ピントなどが自動設定されたことをおしらせします。

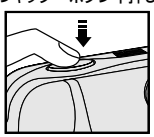
シャッターボタン半押し



フォーカスロックマーク

● 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。
- “ピーッ”という音とファインダーランプ（グリーン）の点滅、🖼（画像記録中）アイコンの表示で、撮影されたことをおしらせします。
- プレビュー設定を［オン］にしている場合（初期設定は［オン］P58 ）は、撮影された画像を表示します。
- ファインダーランプ（グリーン）の点滅が点灯になると、次の撮影が可能になります。

シャッターボタン半押し

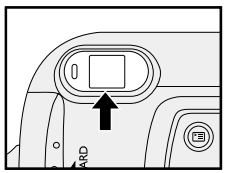


- 🖼（画像記録中）アイコンの表示中は“画像記録中”のため、次の撮影はできません。
- 🖼（画像記録中）アイコンが表示したあとに、ファインダーランプがオレンジで点滅している場合は、ストロボの充電中です。**ストロボを使う** P34

ファインダーを見ながら撮る場合（液晶モニターオフ） 静止画撮影の流れ P31

50cm以内の距離で撮影する場合は、ファインダー内の画像と実際に撮影される画像にズレが生じますので、マクロモードに設定し P36 、液晶モニターを見ながらの撮影をおすすめします。

● 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。
● モードダイヤルを 📷 / M📷 にします。
● LCDを2回押して、液晶モニターを“表示オフ”にします。
液晶モニターの表示切替について P17
● 脇を締めて両手でカメラを構え、被写体がファインダーに収まるように構図を決めます。



- 被写体をファインダー内に表示されている ⊹ にあわせます。

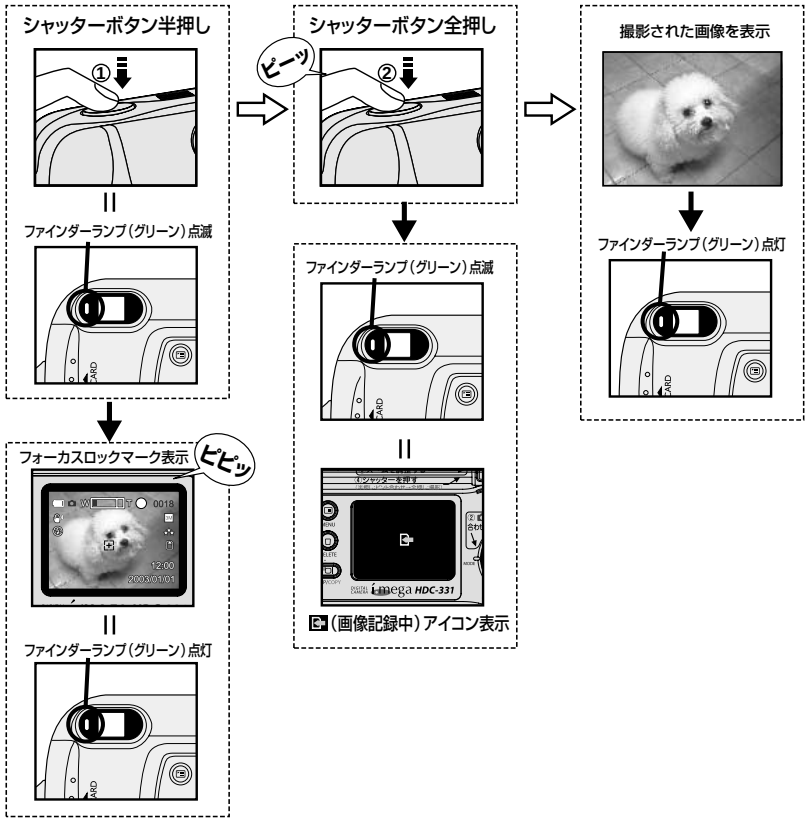
両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

● シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。
- ファインダーランプ（グリーン）が点滅し、“ピピッ”という音とファインダーランプ（グリーン）の点灯で、ピントなどが自動設定されたことをおしらせします。

● 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。
- “ピーッ”という音とファインダーランプ（グリーン）の点滅、🖼（画像記録中）アイコンの表示で、撮影されたことをおしらせします。
- プレビュー設定を［オン］にしている場合（初期設定は［オン］P58 ）は、撮影された画像を表示します。
- ファインダーランプ（グリーン）の点滅が点灯になると、次の撮影が可能になります。

- ファインダーランプ（グリーン）の点滅中は“画像記録中”のため、次の撮影はできません。
- ファインダーランプがグリーンに点灯したあとに、オレンジで点滅している場合は、ストロボの充電中です。**ストロボを使う** P34

静止画撮影の流れ（プレビューオン時）



オートフォーカスが苦手な被写体について（フォーカスロック撮影）

本機のオートフォーカス機能は、CCD上のコントラストの状態を検知して距離を測るコントラスト方式AFを採用しています。
以下のような被写体はピントが合いにくい場合があります。その場合は、被写体と同距離にあるコントラストとのはっきりしたものでフォーカスロック（半押し）をしたあと、構図を決めて撮影してください。

- **コントラストがはっきりしない（極端に暗い場合など）**
- **画面中央に極端に明るいものがある**
- **遠いものと近いものが混在する（ガラス越しなど）**
- **動きのはやいもの**
- **ピントを合わせたいものが中央にない**

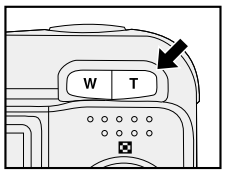
■ ズームを使う

被写体をズーム倍率3倍で拡大して撮影できます。デジタルズームと組み合わせて使用すると最大約6倍の撮影ができます。

- 35mmフィルム換算：約35mm～約105mm
- デジタルズームは画像サイズ2048×1536（約315万画素）モード時のみ有効で、撮影された画像の画像サイズは1024×768（約79万画素）となります。
  デジタルズームを使う場合 P33

高倍率での撮影は手ブレが起こりやすくなります。手ブレ防止のために三脚を使うなどして、カメラを固定してください。

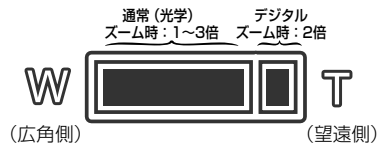
● **モードダイヤルを 📷 ／ M📷 にして、液晶モニターまたはファインダーで被写体を確認しながら、T ／ W を押してズームを調整します。**



T ：被写体を拡大します（望遠）。
W ：被写体を小さくします（広角）。

ここで設定したズームは、電源をオフにすると最も広角側（ワイド端）に戻ります。

ズームバーの表示



デジタルズームを使う場合

液晶モニターを見ながらの撮影時（画像サイズ2048×1536（約315万画素）モード時のみ有効）に、最も望遠側（テレ端）まで拡大し、再度 **T** ボタンを押すと、さらに拡大して撮影できます。

- **デジタルズームされているかどうかについては、液晶モニター内のズームバーにて確認できます。**

W▬▬▬T ：デジタルズームされている場合

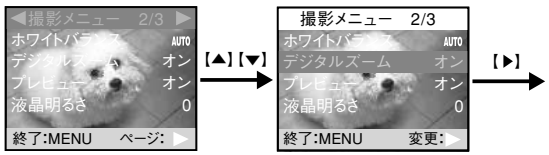
W▬▬▭T ：デジタルズームされていない場合

- **デジタルズームしているまま、 を押したり、液晶モニターを表示オフに設定すると、デジタルズームは解除されます。**
- **デジタルズームで撮影された画像の画像サイズは1024×768（約79万画素）となります。**

- **デジタルズームの初期設定は［オン］が設定されています。設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。**

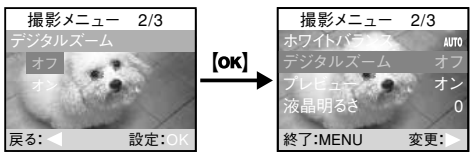
● **モードダイヤルを ／ にします。**

● **を押して、［撮影メニュー］から【▲】【▼】で、［デジタルズーム］を選び、【▶】を押します。**



● **【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、OK を押します。**

［撮影メニュー］に戻り、設定した内容を表示します。

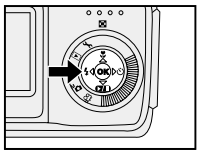


● **を押すと撮影メニューを終了します。**

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。
ストロボの発光は、プリ発光、続いてメイン発光と2回行われます。プリ発光で得られた被写体の露出情報をもとに、メイン発光に必要な発光量が決定され、最適な発光量でストロボ撮影を行います。

● **モードダイヤルを ／ にして、 ストロボボタン（【◀】）を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。**



- **ストロボモードを選ぶと、ファインダーランプ（オレンジ）が点滅し、ストロボの充電中をおしらせします。**

発光禁止モード：ストロボは発光しません。

初期設定

液晶モニターに が表示されている場合は、ストロボ発光モードでの撮影をおすすめします。
暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

オートモード：撮影環境に応じて自動的にストロボを発光します。

赤目軽減モード（オート）：暗いとところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影のためのストロボの前に1度ストロボが発光します。

夜景モード：遅いシャッタースピードでストロボを発光させます。
夜景などで背景だけが暗くなるのを軽減できます。三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

強制発光モード：常にストロボを発光させます。

- ストロボによる連動範囲（推奨）は、広角側（ **W** ワイド端）：約0.5m～約3.0m、望遠側（ **T** テレ端）：約0.5m～約2.5mです。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。
- ストロボ発光モードを選んだあとに、マクロモードに設定すると、発行禁止モードになります。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと発光禁止モードに戻ります。

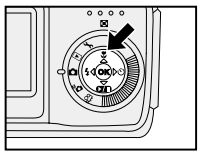
- ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- ストロボの充電中にシャッターボタンを押しても、“ピピピッ”という音がなって撮影できません。
- 電池残量が少ない場合は、暗いところでの撮影でもストロボを発光しない場合があります。その場合は電池を交換することをおすすめします。
- 赤目軽減モードは強制発光モードではありません。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や 条件によって、効果が表れにくい場合があります。

■ 近距離撮影をする（マクロ撮影）

マクロモードに設定して撮影すると、約20cm～約50cmの近距離撮影が可能になります。

● モードダイヤルを 📷 ／ 📷M にして、 🌷 マクロボタン（【▲】）を押してマクロモードに設定します。

液晶モニターに 🌷 が表示され、マクロモードが設定されたことをおしらせします。



マクロモード 🌷 ： 撮影可能範囲 約20cm～約50cm
標準モード **初期設定** ： 撮影可能範囲 約50cm～∞

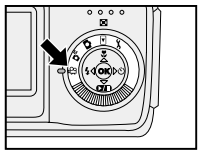
- マクロモードに設定すると、各ストロボ発光モードを選んでいても、発行禁止モードになります。（ストロボ連動範囲（推奨）：約0.5m～約3.0m（W）／約2.5m（T））
- マクロモード時には、液晶モニターの表示オフを選ぶことはできません。また、ファインダーを見ながらの撮影（液晶モニターオフ）時にはマクロモードを設定することはできません。液晶モニターを見ながら撮影してください。
- ここで選んだマクロモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P25 操作を行うと標準モードに戻ります。

■ 動画を撮る

本機は動画を撮影できます。撮影した動画は、カメラで再生したり、付属のビデオケーブルを使用してテレビで見ることができます。

● 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。

● モードダイヤルを 🎥 にします。



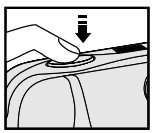
● **T** ／ **W** でズームを調整します。

ズームの調整は撮影開始後にはできません。

● シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。

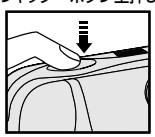
- “ピピッ”という音で、ピントなどが自動設定されたことをおしらせします。

シャッターボタン半押し



● 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッターボタン全押し



- “ピッ”という音と 🎥 アイコンの点滅で、撮影が開始されたことをおしらせします。
  撮影中は液晶モニターに撮影秒数が表示されます。

● 撮影をストップするときは、シャッターボタンを全押しします。

“ピッ”という音がなって撮影をストップします。

- 撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的にストップします。
- ストロボ、セルフタイマー、マクロ撮影はできません。ホワイトバランス P55 、露出 P56 の設定は動画撮影時も有効です。

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	320×240
記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声なし）
フレームレート	30フレーム/秒
データサイズ	約231KB/秒
記録時間	内蔵16MBフラッシュメモリ時：約90秒 SDメモリカード32MB時：約168秒

データサイズ、撮影時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

- 動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

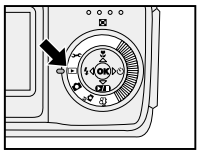
（※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX 8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生（2倍/4倍）、インデックス再生（9分割）があります。

● **電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。**

● **モードダイヤルを ▶ にします。**



最後に撮影された画像が表示されます（**シングル再生**）。

● **【◀】【▶】で画像を選びます。**

• **動画の場合は最初の1フレームが表示されます。**

ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を、2倍、4倍の倍率でズーム再生することができます。

動画像はズーム再生できません。

● **【◀】【▶】で画像を選び、液晶モニターにズーム再生したい画像を表示させます。**

● **T を押すと中央部分を拡大して再生します。**

1倍→ **T** →2倍→ **T** →4倍

● **【▲】【▼】【◀】【▶】で、表示位置を変更します。**

● **W を押すと拡大表示を解除します。**

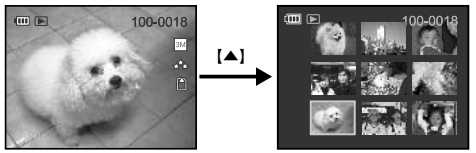
4倍→ **W** →2倍→ **W** →1倍

インデックス再生をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

● **シングル再生時に ⊞ インデックス再生ボタン（【▲】）を押します。**

インデックス再生画面になります。

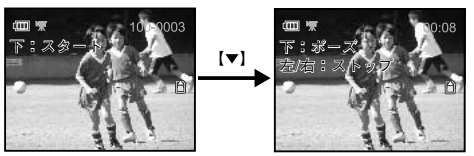


● **【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選び、 OK を押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。**

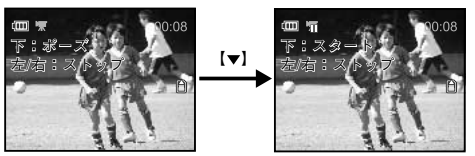
動画を再生する場合は

● **【◀】【▶】で再生したい動画像を選びます。**

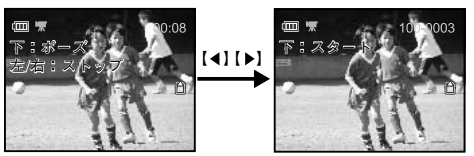
● **▶/II スタート／ポーズボタン（【▼】）押すと再生をスタートし、液晶モニターに再生秒数を表示します。**



• **再生時に ▶/II（【▼】）を押すと一時停止します。（再度 ▶/II（【▼】）を押すとスタートします。）**



• **再生時に【◀】【▶】を押すと、再生をストップし、最初の1フレーム表示に戻ります。**

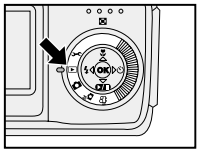


画像を消去する

一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を1度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

● 電源スイッチをスライドさせて、電源をオンにします。

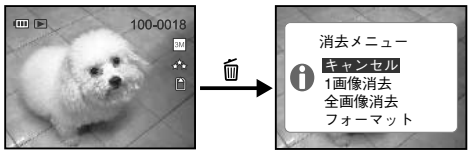
● モードダイヤルを ▶ にします。



最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

● 【◀】【▶】で消去したい画像を表示させます。
- インデックス再生時は【▲】【▼】【◀】【▶】で消去したい画像を選びます。

● 🗑 を押して［消去メニュー］を表示させます。



● ［消去メニュー］から【▲】【▼】で［1画像消去］を選び、**OK** を押します。
消去確認の画面が表示されます。
- この時点ではまだ消去されていません。

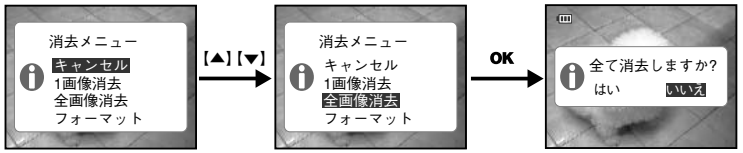
● 【◀】【▶】で［はい］／［いいえ］を選び、**OK** を押します。
- ［いいえ］を選ぶと消去を中止して、再生モードに戻ります。続けて消去を行う場合は、再度 🗑 を押して［消去メニュー］から操作してください。

【◀】【▶】で選ぶ

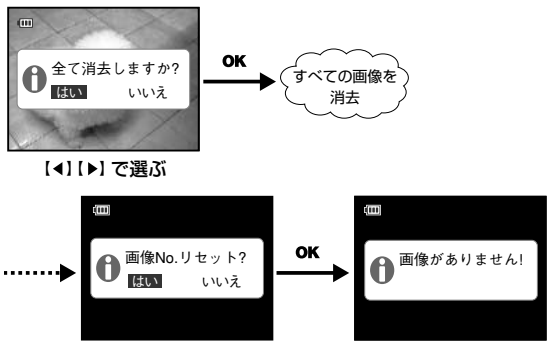
すべての画像を消去する場合

● モードダイヤルを ▶ にします。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

● 🗑 を押して［消去メニュー］を表示させ、【▲】【▼】で［全画像消去］を選び、**OK** を押します。
消去確認の画面が表示されます。
- この時点ではまだ消去されていません。



● 【◀】【▶】で［はい］／［いいえ］を選び、**OK** を押します。
すべての画像が消去され、**画像ナンバーリセット**の確認画面が表示されます。
【◀】【▶】で［はい］／［いいえ］を選び、**OK** を押します。



画像ナンバーリセットについて

すべての画像を消去した場合や、フォーマットした場合 P64 に、画像ナンバーをリセットすることができます。

画像ナンバーリセットの動作は、全画像消去時と、フォーマット時では異なります。

［全画像消去］時……ファイルナンバーのみリセット
［フォーマット］時……フォルダナンバーおよびファイルナンバーをリセット

テレビを使って再生／撮影する

同梱のビデオケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

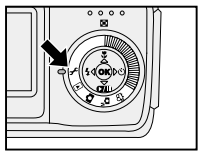
ビデオケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。

テレビと接続する前に

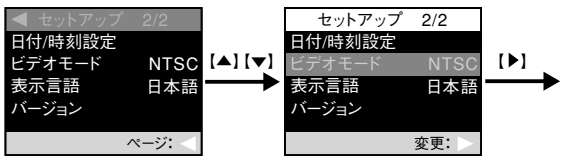
テレビと接続する前に、テレビの方式を設定します。

NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど **初期設定**
PAL方式の主な国：　イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

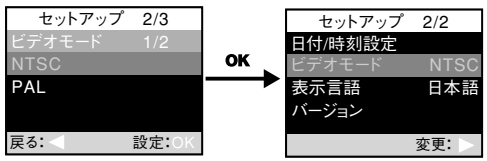
● **モードダイヤルを 🔧 にします。**



● **[セットアップ] メニューから【▲】【▼】で [ビデオモード] を選び、【▶】を押します。**

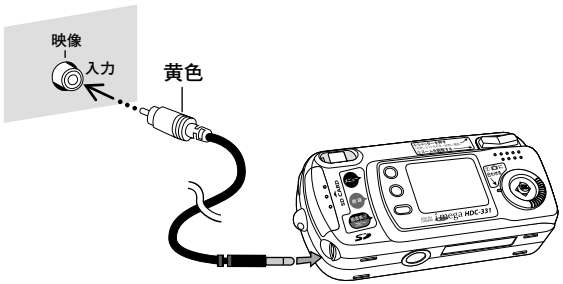


● **【▲】【▼】でテレビの方式を選び、OK を押します。**
［セットアップ］メニューに戻り、設定した内容を表示します。



ここで選んだテレビの方式は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す P25 操作を行うと［NTSC］に戻ります。

● **ビデオケーブルのミニプラグ（細い方）をカメラのビデオ出力端に差し込み、ピンプラグ（太い方）をテレビのビデオ映像端子に接続します。**
〈テレビのビデオ映像端子〉



● **テレビの電源をオンにして、テレビの入力切り替えをビデオ入力モードに切り替えます。**

● **カメラの電源をオンにして、再生する場合は、モードダイヤルを ▶ に、撮影する場合は 📷 ／ M📷 ／ 🎥 にします。**
テレビに画像が表示されます。

- 接続した際は、ビデオケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターには表示されません。

メ　モ

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は
TEL　0120−3121−68
FAX　0120−3121−87

商品情報やお取り扱いに
ついてのご相談は
TEL　0120−8802−28
FAX　03−3260−9739

*フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当する センターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区のお客様相談センターへ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011−833−5088	札幌市白石区東札幌2条4−1−10
東北地区	022−232−5088	仙台市宮城野区扇町1−1−45
関東・甲信越地区	03−3834−8588	台東区東上野2−7−5（日立家電上野ビル）
中部地区	052−795−5088	名古屋市守山区新守町59(日立家電新守山ビル)
関西地区	078−431−5088	神戸市東灘区甲南町1−3−8
中国地区	082−231−5088	広島市西区観音新町1−7−17
四国地区	0877−47−1088	坂出市林田町4285−143
九州・沖縄地区	092−281−5088	福岡市博多区店屋町7−18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称,所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

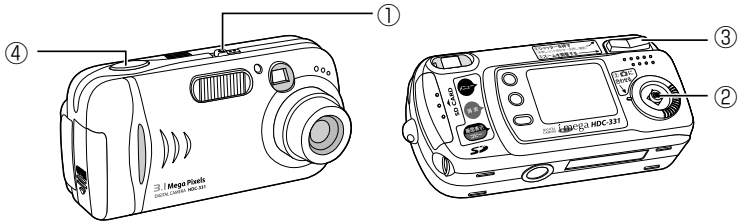
株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス

http://www.hitachi-ls.co.jp/

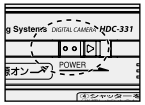
とにかく撮ってみる

詳しくは**静止画を撮る** P27 をご覧ください。

メモリーカードを使う場合は、SDメモリーカードを使う場合 P23 に従って、電源をオンにする前にメモリーカードを挿入してください。



① 電源をオン



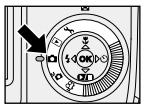
電源スイッチをスライドさせて、カメラの電源をオンにします。

初めてお使いになる場合は、日付/時刻を設定する画面が表示されます。

【▲】【▼】：＋－　**【◀】【▶】**：数値の決定と項目の移動

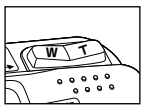
【▲】【▼】【◀】【▶】で設定し、「分」まで合わせたら **OK** を押します。**日付/時刻を合わせる** P22

② に合わせる



モードダイヤルを にします。

③ ズームを調整する



T ／ **W** ボタンを押してズームを調整します。

T：被写体を拡大します（望遠）。

W：被写体を小さくします（広角）。

④ シャッターを押す

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

シャッターボタンの押し方 P28

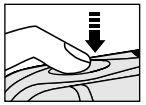
半押しと全押しの操作（感覚）については、実際に撮影される前に必ずお試しください。

● **シャッターボタンを半押ししてピントをあわせます（フォーカスロック）。**

- "ピピッ"という音と、●（フォーカスロックマーク）の表示でピントなどが自動設定されたことをおしらせします。

● **半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。**

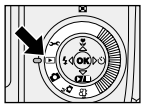
- "ピーッ"という音と 画像記録中アイコンの表示で撮影されたことをおしらせします。



撮影した画像を見る

詳しくは**静止画/動画を見る** P39 をご覧ください。

① に合わせる



モードダイヤルを に合わせます。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

②【◀】【▶】で画像を選びます

- **ズーム再生**：シングル再生で表示された画像を2倍、4倍でズーム再生できます。
  1倍→ **T** →2倍→ **T** →4倍
  4倍→ **W** →2倍→ **W** →1倍
  【▲】【▼】【◀】【▶】を押すと表示位置を変更できます。

- **インデックス再生**：シングル再生時に インデックス再生ボタン（**【▲】**）を押すと、液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。